# 災害の未然防止に努力

## 消防団員七十八名を表彰

十月十三日、三小グラウンドで県消防協会三市中蒲原地区支会連合消防演習が行われました。

演習終了後、ほう賞条例によって、市民の安全を守り続けている消防団員の方七十八名の人が表彰されました。長年にわたって災害の未然防止など、市民の模範として尽くされた皆さんです。

三小のグラウンドで行われた表彰式

今年、表彰を受けられた方は、次のとおりです。

（順不同　敬称略）

**【市の非常勤の特別職に十年以上在職した方】**

消防団員の方

山口　隆一（大安寺）
安川　松男（川根）
川上　一宏（中沢町）
安部　清（安部新）
吉田　正明（下新）
南沢　勇（秋葉一）
眞柄　久資（柄目木）
桂　重雄（下興野町）
井浦　新一（中新田）
大泉　政司（七日町）
杵鞭　力雄（七日町）
田村　松雄（荻島二）
佐藤　政明（荻島三）
佐藤　武夫（荻島一）
柏木　茂雄（覚路津）
笠井　敏広（覚路津）
高橋　利雄（覚路津）
青木　純一（金津）
田辺　久眞（古津）
佐藤　洋一（大鹿）
石月　守（大鹿）
沢田　友秋（大鹿）
樋浦　善教（梅ノ木）
早川　一夫（小屋場）
押味登美雄（小屋場）
長沢　利昭（小屋場）
片岡　正明（子成場）
高橋　正博（川根甲）
新保　栄一（中村）
中村　文夫（古田）
土田　嘉信（下新）
榎本　謹二（朝日）
帆苅　正晴（七日町）
桂　健一郎（北潟）
風間　陽一（川口）
市川　悦雄（覚路津）
大島甚一郎（覚路津）
土田　清一（覚路津）
石塚登志一（覚路津）
土田　誠（岡田）
坂爪　孝一（車場一）
坂爪　政勝（車場一）
植木　寛一（朝日）
平野　力雄（車場一）
平野　榮治（車場）
阿部　純一（朝日）
佐久間功恵（西島）
小柳　丈夫（西島）
伊藤　吉榮（西島）
清野　市郎（本町四）
松井　富和（七日町）
曽田　安英（西島）
昆金　孝（大鹿）
松屋　孝治（下新）
長澤　龍介（古田）
樋口　順一（大安寺）
柳澤　泰尚（七日町）
岩渕　壽一（市之瀬）
稲垣　信幸（覚路津）
大橋　勝秋（覚路津）
小柳　昌宏（金津）
佐々木清雄（新町三）
田中　敏夫（大蔵）
岩淵　壯一（市之瀬）
本間　忠雄（市之瀬）
西山　邦衛（金津）
今井　由夫（新郷屋）
古川　武（川根）
鈴木　幸一（古津）
古田　俊一（朝日）
古石　久男（古田）
伊藤　教示（西島）
大杉　信夫（中村）
加藤　省一（程島）
渡邊　博（小口）
天野　和生（下新）
繁野　道秋（田家二）
長谷川幸平（西島）

# 地域防災の担い手

## 消防団活動にご協力を

### 地域に根ざした消防団の活躍

消防団は、町や村の住民の生命、身体や財産を守る重要な役割を担っています。今では、消防署が各市町村にできていますが、地域社会で消防団の果たす役割は、以前にも増して重要になっています。

消防署のない地域では、なおさらのことです。消防団が町や村の災害活動をすべて引き受けているからです。

今年の夏に起こった長野県の地すべり災害や日航機墜落事故では、消防団の活躍が大きな力となりました。

災害が複雑多様化し、大規模になっている今日、消防団の活躍に、より大きな期待がかかっているといえます。

### 消防団員不足は大きな痛手

しかし、消防団にも〝問題〟がないわけではありません。団員のなり手が年々少なくなっていることです。これは都心だけでなく、農村にもサラリーマンが増えたことが、大きな原因のひとつではないかといわれています。そのため、地域活動のための時間が減ったこと、団員の老齢化が進んでいるにもかかわらず、若い人たちから敬遠されることなど、そこに住む人たちにとって放っておけない問題です。

住民の間では、「自分のことで精一杯」「面倒だから」という理由で、団員にならない人が多いようです。「自分たちの住む所は、自分たちで守る」という意識が薄らいだ結果といえますが、〝自分にも何かできるはずだ〟という気持ちをもって、積極的に地域活動に参加したいものです。

＊　＊　＊

これからも活躍する消防団に、ご協力をお願いします。

お買物、ご用命は市内で

老舗の味をお気軽に
各種宴会・御会合・仕出し料理承ります
新味割烹　春雨
本町1（駅前）☎22-1600(代)

贈答品・美術品
中野せともの店
本町4丁目　☎22-1086



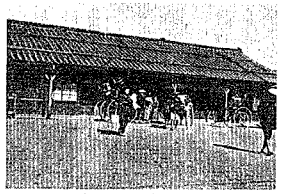
# 新津駅開業八十八周年

## 〝米寿〟記念行事にご参加を

先号でもお知らせしましたが、明治三十年生まれの新津駅が、十一月二十日に満八十八歳の誕生日を迎えます。そこで、この〝米寿〟を市民あげてお祝いしようと、各種団体で「新津駅開業八十八周年記念行事実行委員会」が組織され、次のような記念行事を計画しています。ご参加ください。

♡記念式

●とき…十一月二十日(水)の午前九時三十分～
●ところ…新津駅旅行センター前広場



初代新津駅舎(大正初期)

♡記念祝賀会

●とき…十一月二十日(水)の午前十一時～午後一時
●ところ…市民会館
●参加費…一人三千五百円(どなたでも参加できます)
●申込み…十一月九日(土)までに新津駅旅行センター(☎22－5470)へ

このほか、新津市民号などの協賛行事もあります。くわしいことは、先号をご覧になってください。

### 鉄道資料館で記念特別展を開催

鉄道資料館では、新津駅開業を記念して「鉄道と郷土の特別展」を開きます。

□とき…十一月二十日(水)～二十四日(日)
□ところ…鉄道資料館
□内容…新津今昔、蒸気船と陸蒸気、鉄道開通当時の町の様子、郷土で活躍した蒸気機関車、鉄道全盛期の新津などの写真展

### ご協力ありがとうございました

「さきごろ行った「アンケート調査」の回収率が六二・九％に達しました(十月二十五日現在)。いま、集計作業を急いでいるところですが、結果がまとまり次第、広報でも紹介していく予定です。

調査にご協力いただいた皆さんに紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

さる七月三十一日から八月十日の日程で、新潟県農業者友好訪中団が中国を訪問しました。これは新潟県の主催で、中堅農業指導者を育成することを目的としたものです。三十名の団員の中に、高塚ヒサミさん（善道町二、四十一歳）が参加されましたので、その報告記をご紹介します。

# 中国の農業にふれて

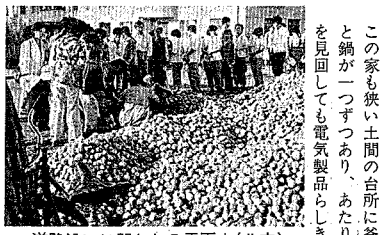
善道町二　高塚　ヒサミ

日本の約二十六倍という広大な面積をもち、また古代文明発祥の地でもある中国。上海、ハルピン、北京の三都市を、十日間の日程で訪問することができました。

終戦の混乱の中、日本人の子どもを育ててくれた中国の人々。訪問を前に、私はどんな思いで訪問したらよいのか迷いました。しかし、そんな心配は全くなく、各地で温かい歓迎を受けました。

北京では、四季青人民公社の一般農家を訪問しましたが、私の年代では、見覚えのない台所風景を目にしました。どこの家も狭い土間の台所に釜と鍋が一つずつあり、あたりを見回しても電気製品らしきものは見あたりません。お昼を御馳走になりましたが、二十三種類に及ぶ、すごい料理にびっくりしました。

また、農業者には三年前から「生産責任制」が各地の人民公社で取り入れられ、自留地が与えられています。農民は税金を払って自分の好きな作物を栽培し、自由市場で自由に販売することができる仕組みになっています。道路沿いに山と積まれた果物、野菜が販売されているのは、日本では見られない光景で、とても印象的でした。



道路沿いに開かれる露天市(北京)

現在の中国では、労働者より農民に金持ちが多く、万元戸(日本でいう昔の百万長者)がいるそうです。また住宅事情では、労働者は借家の人が多く、農民は自分の家を持っている人が多くいます。

農業技術については、学ぶものはあまりありませんでしたが、ハルピンの蔬菜研究所を訪問したとき、所長が話してくれたこれからの課題が、私の心にとまりました。それは、①育苗、②マルチ栽培、③野菜の貯蔵方法（寒い期間が長いため）、④野菜の冷凍方法、⑤野菜の生産性を高めるための農薬の使用方法、⑥加工方法（交通がよくないことに伴う地元産の野菜の加工方法）の六点で、これらの課題の解決に、積極的に取り組んでいる姿勢が伺われました。そして、「農薬を使わないで生産を上げる方法」も研究課題であると話しておられました。日本の農業には農薬公害があるといわれているだけに、非常に興味深いものがありました。

高塚さん

広大な土地、そして十億人余の人民を養う「中国」は、農業が八〇％で、各人民公社間での賃金格差はあるものの、農産物の生産性向上など、農業に注ぐ国の努力は大きいものがあります。また、観光、工業の発展も著しく、それに伴うホテルやアパートの建設、道路の整備改良などが急ピッチで進められています。

計画出産（一人子）問題や年金、福祉、医療制度など、すべての面において、これからの中国の進展は計り知れない力があるものと思われます。

お買物、ご用命は市内で

4月目　チューリップチェーン会　ご優待旅行のお知らせ
奥信濃路と秘湯の旅
◆松代・真田邸・美ヶ原・松本城・安曇野・黒部ダム他
200名さま参加者募集中
出発　61年9月7日(日)・8日(月)　1泊2日